

講義コード		授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	日本語表現法基礎 1						第 1 期
履修前提条件						備考	
授業の目的	<p>大学生として必要な、日本語の「話す・聞く・読む・書く」に関する表現力を身につけることを目的とする。 授業計画に示すテーマで毎回講義を行い、授業中には随時、作文実習を行う。 教科書付属のトレーニングシートを使うので、教科書を必ず持参すること。 留学生の場合は日本語能力試験N1レベル程度を目安とする。</p>						
到達目標	<p>大学生生活と勉学における、基本的な言語的知識を幅広く理解し、必要に応じて用いることができる。 大学でのレポート・論文作成や就職活動、インターンシップの活動に、授業で学んだ知識を役立てることができる。</p>						
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<p>この科目では15時間以上の授業外学修を行うこと。 毎回の授業の前には、各回の授業で扱う項目について教科書を読んでおくこと。 毎回の授業の後には、復習し再度作文演習をして理解を深めること。</p>						
授業計画	<p>【第1回】 ガイダンス 【第2回】 自己紹介 【第3回】 大学でのノートのとり方 【第4回】 敬語の基礎 【第5回】 確実な連絡メモ 【第6回】 メールの書き方 【第7回】 手紙の書き方 【第8回】 説明のコツ 【第9回】 大学生の調べ方（1）図書館での調べ方 【第10回】 大学生の調べ方（2）文献入手の仕方 【第11回】 資料の読みとり 【第12回】 レポートの書き方（1）具体的な手順 【第13回】 レポートの書き方（2）書式 【第14回】 履歴書の作成 【第15回】 面接の受け方</p>						
成績評価の方法	毎週提出する授業課題（80%）、授業への取り組み姿勢（20%）						
フィードバックの内容	重要な課題について授業中に解答例を見せて解説する。						
教科書	『大学生のための日本語表現トレーニングスキルアップ編』橋本修・安部朋世・福嶋健伸（編著）（三省堂）2008年						
指定図書							
参考書							
教員からのお知らせ	学籍番号によるクラス指定有。詳細は時間割およびガイダンス資料を確認すること。						
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。						
その他							